



▲この時期の竿入れ時刻は6時20分

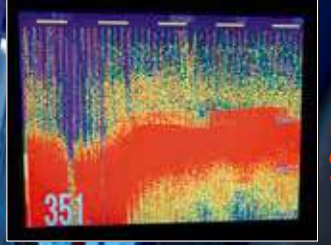
新島沖 金目鯛

南伊豆下田須崎港出船 寒さ忘れる豪快な多点掛け 新島沖のキンメは冬も好調

撮影●椎名義徳



▼底から30~40メートル上までキンメの反応がビッシリ



●新島沖は、食気のある群れに当たれば豪快な多点掛けが待っている



●だれでも朝イチに本命が釣れるとうれしい



仕掛けは掛け枠を使って投入するスタイル



●取り込みは手が空いた人がキンメの下方にタモを構えてサポートしよう



▲当日の最大は1.5キロ



●良型キンメの多点掛けを達成したい人は南伊豆へ!



●3キロ級のアコウも上がった



▲タックルは大型電動リールと深海竿の組み合わせ。手軽なレンタルタックルを活用するベテランも増えているそう



▲仕掛けのハリ数は20本まで、鉄筋オモリ2キロを使用。エサは持参でカツオのハラモが定番



●この日は明々々々な多点掛けて上がる流しが続いた



●筆者も多点掛けを披露

要となるが、ほとんどの船宿が貸し道具と一日分の仕掛けやエサが付くフルレンタルプランを用意しているの、初心者でもチャレンジできる。
これから早春にかけて、潮が濁り始めると模様はさらに上向き絶好期を迎える。冬の寒さを忘れる豪快な多点掛けをぜひ体験してほしい。
(詳細は54ページ参照)

南伊豆から出船する新島沖のキンメダイは、美味なブランド魚として取り上げられることが多い魚だけに釣り物としての人気も抜群。最近の釣れ具合は1キロ級を主体に好日はトップ20枚前後と好調で、アコウやクロムツなども交じっている。
釣り場は新島沖の水深350~500メートル前後で、最多で20本バリの胴つき仕掛けにオモリは鉄筋2キロとなるためPE12号の道糸を1200メートル以上巻ける大型電動リールと深海竿が必要



●南伊豆下田須崎港・宝栄丸 伊藤 壮章船長



●片舷流してミヨシから順番に投入する